

## 藤本由紀夫 CV

1950年 名古屋市生まれ  
 大阪市在住

## 個展

|      |  |
|------|--|
| 2020 | 「Yukio Fujimoto Sound Album」 シュウゴアーツ オンラインショー  |
| 2019 | 「星の読書・夏」 芦屋市立美術博物館（兵庫）   |
| 2018 | 「photo / graph」 サイギャラリー（大阪）<br>「ダッシュ」 ギャラリー島田（兵庫）  |
| 2017 | 「STARS」 シュウゴアーツ（東京）<br>「キュレトリアル・スタディズ 12： 泉／Fountain 1917-2017, Case 2: He CHOSE it.」 京都国立近代美術館（京都）  |
| 2016 | 「Broom (Coal)/ Tokyo」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京）   |
| 2015 | 「THE BOX OF MEMORY」 京都アートホテル クマグスク（京都）<br>「Sound and Vision-David Cunningham and Yukio Fujimoto」 Laure Genillard(ロンドン)   |
| 2014 | 「retard」 シュウゴアーツ（東京）<br>「music/box」 E&C ギャラリー（福井）  |
| 2013 | 「REVOLUTION & GRAVITY」 ギャラリーキャプション（岐阜）   |
| 2011 | 「philosophical toys」 ギャラリーキャプション（岐阜）<br>「n/t -phonography/ photography-」 シュウゴアーツ（東京）   |
| 2010 | 「notes 1979-2009」 サイギャラリー（大阪）  |
| 2009 | 「遠/近」 シュウゴアーツ（東京）<br>「The Tower of Time」 アイコンギャラリー（バーミンガム）<br>「audio/visual V」 ギャラリーキャプション（岐阜）<br>「藤本由紀夫展」 西脇市岡之山美術館（兵庫）   |
| 2007 | 「see/here -見ることと聞くこと」 高砂屋（鳥取）<br>「ECHO -潜在的音響」 広島市現代美術館（広島）<br>「+/-」 国立国際美術館（大阪）<br>「philosophical toys」 西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「関係」 和歌山県立近代美術館（和歌山）<br>「静/聴」 シュウゴアーツ（東京） |
| 2006 | 「アート@アグネス」 アグネスホテル（東京）<br>「美術館の遠足 10/10」 西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「ここ、そして、そこ」 名古屋市美術館（名古屋）<br>「audio/visual IV」 ギャラリーキャプション（岐阜）   |
| 2005 | 「美術館の遠足 9/10」 西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「audio/visual III」 ギャラリーキャプション（岐阜）   |
| 2004 | 「哲学的玩具 II」 シュウゴアーツ（東京）<br>「美術館の遠足 8/10」 西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「工芸館、藤本由紀夫、大原美術館」 大原美術館工芸館(岡山)   |

|      |  |
|------|--|
| 2003 | 「美術館の遠足 7/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「AUDIO/VISUAL II」ギャラリーキャプション（岐阜）  |
| 2002 | 「in/out」京都芸術センター（京都）<br>「美術館の遠足 6/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）  |
| 2001 | 「PHILOSOPHICAL TOYS」サイギャラリー（大阪）<br>「四次元の読書」CCGA 現代グラフィックアートセンター（福島）<br>「美術館の遠足 5/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）                       |
| 2000 | 「美術館の遠足 4/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「AUDIO/VISUAL」ギャラリーキャプション（岐阜）   |
| 1999 | 「美術館の遠足 3/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）  |
| 1998 | 「A RED MOON」サイギャラリー（大阪）<br>「美術館の遠足 2/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）   |
| 1996 | 「オブライエンの部屋」サイギャラリー（大阪）   |
| 1994 | 「藤本由紀夫 サウンドオブジェ展」児玉画廊（大阪）<br>「藤本由紀夫 版画展」サイギャラリー（大阪）  |
| 1992 | 「FATE & CHANCE」ヒルサイド・ギャラリー（東京）   |
| 1991 | 「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」INAX スペース（広島）<br>「4D」インターフォームアトリエ/ フォトインターフォーム（大阪）   |
| 1990 | 「屋上の耳」児玉画廊（大阪）<br>「Yukio Fujimoto in Gulliver's Travels」ギャラリービュウ（大阪）<br>「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」HALS ギャラリー（東京）<br>「星」ジーベック（神戸） |
| 1989 | 「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」児玉画廊（大阪）<br>「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」西脇市岡之山美術館（兵庫）<br>「Self-Portrait」リトルギャラリー（大阪）                             |
| 1988 | 「NOWHERE Dedicated to Lewis Carol」ノースフォート（大阪）<br>「Voice of Gallery」ヴォイスギャラリー（京都）   |
| 1987 | 「ミラノ近郊の別荘の不思議な中庭」ノースフォート（大阪）<br>「F's Collection」ノースフォート（大阪）<br>「Magical Simulation」アートスペース（兵庫）                           |
| 1986 | 「箱庭の音楽」ノースフォート（大阪）   |

## グループ展

|      |   |
|------|---|
| 2020 | 「西宮市大谷記念美術館の<展覧会とコレクション>2」西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「2018 年度受贈 新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館（兵庫）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2019 | 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019」六甲高山植物園ほか（兵庫）<br>「Voice and Sound Waves: The Japanese Scene」Felix Frachon Gallery（ベルギー）<br>「林勇気 × 藤本由紀夫「Yuzu muge」」ギャラリーほそかわ（大阪）<br>「目の目 手の目 心の目 part2」岡山県立美術館（岡山）<br>「30th - Miracle vol.2 / On the Wall」ギャラリーノマル（大阪） |
| 2018 | 「起点としての 80 年代」金沢 21 世紀美術館（石川）<br>「AllStars」ギャラリーノマル（大阪）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）  |

|      |   |
|------|---|
| 2017 | 「20th DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館」日比谷図書文化館（東京）<br>「ニューイ・ブランシュ KYOTO 見立てと想像力ー千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ」元淳風小学校（京都）<br>「港都K O B E 芸術祭 - rendez-vous」神戸ポートターミナルホール（兵庫）<br>「非在の庭 総集編」アートスペース虹（京都）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2016 | 「オープン・スペース 2016 メディア・コンシャス」NTT インターコミュニケーション・センター（東京）   |
| 2015 | 「Sound and Vision -David Cunningham and Yukio Fujimoto-」Laure Genillard（ロンドン）<br>「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 S U N D A Y の隣」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京）   |
| 2014 | 「音のステーション」アートエリア B1（大阪）<br>「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京）<br>「phono/graph - sound, letters, graphics」ギンザ・グラフィック・ギャラリー（東京）   |
| 2013 | 「堂島リバービエンナーレ 2013- Little Water」堂島リバーフォーラム（大阪）<br>「Re:Questー1970 年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館（ソウル）<br>「周縁からのフィールドワーク」ギャルリ・オーブ（京都）  |
| 2012 | 「phono/graph」Dortmund U（ドルトムント、ドイツ）<br>「記録する視線」シュウゴアーツ（東京）<br>「NOTATIONS -THE CAGE EFFECT TODAY-」HUNTER COLLEGE / TIMES SQUARE GALLERY（ニューヨーク）  |
| 2011 | 「BOX」ギャラリーノマル（大阪）<br>「オムニログ：オルタネイティング カレント： 3.11 以降の日本現代美術」Perth Institute of Contemporary Arts (PICA)（パース）<br>「耳をすまして-美術と音楽の交差点」茨城県近代美術館（茨城）<br>「phono/graph -音・文字・グラフィック-」ddd ギャラリー（大阪）<br>「Art in an Office -印象派・近代日本画から現代絵画まで」豊田市美術館（愛知）<br>「ほんをさがして」ギャラリーほそかわ（大阪）  |
| 2010 | 「The Record: Contemporary Art and Vinyl」Nasher Museum of Art at Duke University（ダーハム、ノースカロライナ州、アメリカ）<br>「Negotiation- Today's Documents 2010」Today Art Museum（北京）<br>「Living with art -Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi&C.Contemporary Art space（台北）<br>「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2010」オルゴールミュージアム ホール・オブ・ホールズ六甲（神戸） |
| 2009 | 「2009 年コレクション展 II 美術の中のかたち -手で見える造形- SHADOW -exhibition obscura-」兵庫県立美術館（兵庫）<br>「神戸ビエンナーレ 2009 招待作家展 LiNK-しなやかな逸脱」兵庫県立美術館（兵庫）   |
| 2008 | 「開館 20 周年記念 コレクション+（プラス）ひびきあう音・色・形」高松市美術館（香川）<br>「小杉武久+藤本由紀夫展 音楽」国際芸術センター青森（青森）<br>「時間の形」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）  |
|      | 「ライト・[イン]サイト 拡張する光、変容する知覚」NTT インターコミュニケーションセンター[ICC]ギャラリーA ほか（東京）   |
| 2007 | 「第 52 回 ヴェニス・ビエンナーレ」アルセナーレ（ヴェニス）  |
| 2006 | 「A ランチ」AXIS GALLERY ANNEX（東京）   |

|      |   |
|------|---|
|      | 「再生-孕む彫刻～ギャラリーコレクションとともに」 ギャラリーほそかわ（大阪）                       |
|      | 「取手アートプロジェクト 2006」(取手)  |
| 2005 | 「サマーショウ」 シュウゴアーツ（東京）  |
|      | 「西から東から」 シュウゴアーツ（東京）  |
| 2004 | 「心の在り処 -日本の現代美術-」 モスクワ現代美術館（モスクワ）                             |
|      | 「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2004 サウンド・マイン・ナゴヤ」 名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）             |
|      | 「第1回 北京芸術区国際アートフェスティバル」 大山子芸術区（北京）                            |
|      | 「「これはデュシャンではない」、ですか。藤本由紀夫、森村泰昌二人展」 MEM（大阪）                    |
|      | 「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」 国立国際美術館（大阪）                             |
| 2003 | 「心の在り処 -日本の現代美術-」 ルードヴィヒ美術館（ブダペスト）                            |
| 2002 | 「ceramica 遠藤利克&藤本由紀夫」 ニューリンアートギャラリー（ペンザンス）                    |
|      | 「本と美術」 徳島県立近代美術館（徳島）  |
|      | 「カフェ・イン水戸」 水戸芸術館（水戸）  |
|      | 「杉山知子・塚脇淳・藤本由紀夫 ドローイング展」 CAP HOUSE（神戸）                        |
|      | 「アート音楽館」 釧路市立美術館（釧路）  |
| 2001 | 「第49回ヴェニス・ビエンナーレ」 日本館（ヴェニス）                                   |
|      | 「among others 4」 クンストラーハウス（ドルトムント）                            |
|      | 「Facts of Life : Contemporary Japanese Art」 ヘイワード・ギャラリー（ロンドン） |
|      | 「空間のコンポジション」 アサヒビール大山崎山荘美術館（兵庫）                               |
| 2000 | 「イチハラヒロコ・藤本由紀夫」 サイギャラリー（大阪）                                   |
|      | 「子どものための美術展 2000 アートで学ぼうアートを遊ぼう」 広島市現代美術館（広島）                 |
|      | 「その日に 5 年後、77 年後 震災・記憶・芸術」 川崎市岡本太郎美術館（神奈川）                    |
|      | 「Towards Utopia」 海岸通ギャラリーCASO（大阪）                             |
|      | 「ガーデン」 後楽園(岡山)  |
| 1999 | 「恋スル身体 A SENSE of REALITY」 宇都宮美術館（栃木）                         |
|      | 「五感の芸術」 クンストハウス（ハンブルグ）  |
|      | 「岡田一郎+藤本由紀夫」 アートスペース虹（京都）                                     |
| 1998 | 「アート遊園地」 伊丹市立美術館（兵庫）  |
| 1997 | 「アートラビリンス II 時の記憶」 岡山県立美術館（岡山）                                |
|      | 「ものとあられわれ 新しい関西の美術家たち」 和歌山県立近代美術館（和歌山）                        |
|      | 「4 th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭」 北九州市立美術館（福岡）                            |
| 1996 | 「ひかる・うごく・おとがする 20 世紀美術の静かならざる作品たち」 和歌山県立近代美術館（和歌山）            |
|      | 「光の記憶'96 藤本由紀夫 + 笹岡敬展」 キュービックギャラリー（大阪）                        |
|      | 「植物採集展 光合成の原理」 児玉画廊（大阪）                                       |
|      | 「写楽再見」 国際交流基金フォーラム（東京）  |
|      | 「3D-LAB. Part3 知覚の快楽」 東京都写真美術館（東京）                            |
| 1995 | 「柔らかく重く」 埼玉県立近代美術館（埼玉） / ライフ・ギャラリー（オハイオ）                      |
| 1994 | 「感覚による思索」 京都市美術館（京都）  |
|      | 「3D STUDIO ステレオ・プレイ！展」 サムミュージアム（大阪）                           |
|      | 「アート・ラビリンス 90 年代美術への視座」,岡山県立美術館（岡山）                           |
|      | 「21 世紀・的・空間」 セゾン美術館（東京）                                       |
|      | 「時間/美術」 滋賀県立近代美術館（滋賀）   |
|      | 「アートは楽しい 5 身体美術感」 ハラミュージアムアーク（群馬）                             |

|      |   |
|------|---|
|      | 「親と子で見る 楽しい現代美術」 芦屋市立美術博物館（兵庫）                |
|      | 「現代日本デザイン展」 ソウル国立現代美術館（ソウル）                   |
|      | 「心で見る美術展」 名古屋市美術館（愛知）                         |
|      | 「眼の宇宙 かたちをめぐる冒険」 兵庫県立近代美術館（兵庫）                |
|      | 「庭の住人 コンプレッソ・プラスティコ・藤本由紀夫」 ふくやま美術館（広島）        |
| 1993 | 「Gemini 二つの眼と一つの脳による読書術」 インターフォーム（大阪）         |
|      | 「GIAPPONE-ANNI NOVANTA」 ローマ市立フォルクローレ美術館（ローマ）  |
|      | 「3D LOVE 立体視への招待」 東京都写真美術館（東京）                |
|      | 「キッズアートランド」 直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）           |
|      | 「JAPANISCHE KUNSTLER」 デュッセルドルフ市美術館（デュッセルドルフ）  |
|      | 「MUSIC -every sound includes music」 ジーベック（神戸） |
| 1992 | 「UNDR」 シャロッテンボー（コペンハーゲン）                      |
|      | 「ミュージアム・シティ天神 '92」 福岡市天神地区（福岡）                |
|      | 「アート・ナウ'92 12 人の実践 90 年代美術の新地平」 兵庫県立近代美術館（兵庫） |
| 1991 | 「箱の世界 do it yourself」 水戸芸術館現代ギャラリー（茨城）        |
|      | 「芸術祭典・京・造形部門 新古典空間学」 岩城邸（京都）                  |
|      | 「藤本由紀夫+笹岡敬展」 現代中国藝術センター(大阪)                   |
|      | 「現代美術'91 素材はいろいろ」 徳島県立近代美術館（徳島）               |
|      | 「ANIMATED IMAGINATION 視覚への欲求」 東京都写真美術館（東京）    |
|      | 「静かな部屋」 ジーベック（神戸）                             |
| 1990 | 「サウンドガーデン 3」 ストライプハウス美術館/ハイネケンビレッジ（東京）        |
|      | 「流動する美術 II メディアの複合 音と造型」 福岡市美術館（福岡）           |
| 1989 | 「音のある美術」 栃木県立美術館（栃木）                          |
| 1987 | 「部分」 ギャラリー射手座（京都）                             |

## パブリックコレクション

|                      |
|----------------------|
| 高松市美術館               |
| 兵庫県立美術館              |
| 広島市現代美術館             |
| 西宮市大谷記念美術館           |
| 大阪府立現代美術センター         |
| 岩倉市                  |
| ファーレ立川               |
| 東京都現代美術館             |
| 彫刻の森美術館              |
| 名古屋市美術館              |
| 原美術館                 |
| CCGA 現代グラフィックアートセンター |
| 国際交流基金               |
| 南芦屋浜団地               |
| 大分県立美術館              |
| 国立国際美術館              |
| 豊後高田市                |

